

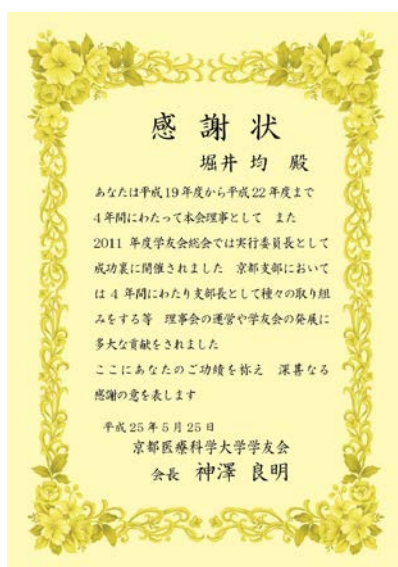
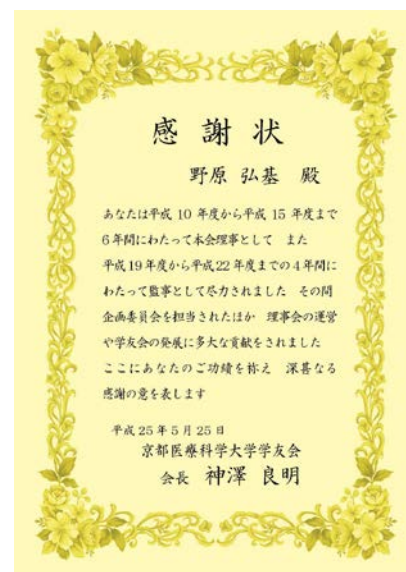
【表彰】

感謝状

野原 弘基 (37回生) 京都支部

受賞理由

野原弘基君は、昭和 37 年に母校を卒業、京都大学医学部附属病院に勤務する傍ら、平成 10 年度から平成 15 年度までの 6 年間にわたって理事として、また平成 19 年度から平成 22 年度まで監事として学友会の発展に尽力した。その間、企画委員会を担当したほか、理事会の運営や学友会の発展に多大な貢献をしたことによる功績。



堀井 均 (55回生) 京都支部

受賞理由

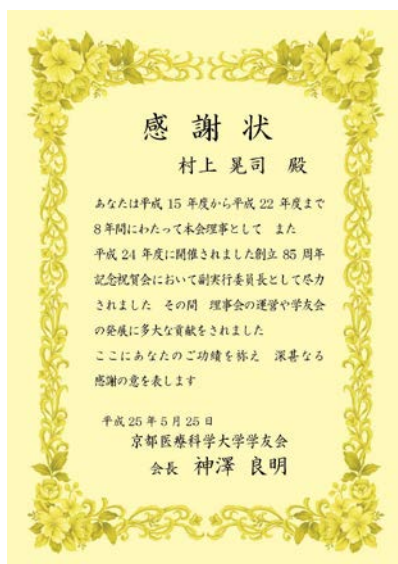
堀井均君は、昭和 56 年に母校を卒業、社会福祉法人 西陣病院に勤務する傍ら、平成 19 年度から平成 22 年度までの 4 年間にわたって理事として、また 2011 年度学友会総会(京都)を実行委員長として成功裏に開催した。また、京都支部においては4年間にわたり支部長として指導的な立場で種々の取り組みをする等、理事会の運営や学友会の発展に多大な貢献をしたことによる功績。



森本 美穂 (62回生) 京都支部

受賞理由

森本美穂君は、昭和 63 年に母校を卒業、京都大学医学部附属病院に勤務する傍ら、平成 5 年度から平成 23 年度までの 18 年間にわたって理事として学友会の発展に尽力した。その間、一貫して学友会誌の編集委員を務めたほか、理事会の運営や総会の運営に多大な貢献をしたことによる功績。



村上 晃司 (短大1回生) 京都支部

受賞理由

村上晃司君は、平成 4 年に母校を卒業、医療法人 坂崎診療所に勤務する傍ら、平成 15 年度から平成 22 年度までの 8 年間にわたって理事として、また平成 24 年度に開催された創立 85 周年記念祝賀会を副実行委員長として尽力した。ほか、理事会の運営や学友会の発展に多大な貢献をしたことによる功績。

向井 富士夫 (賛助会員)

受賞理由

向井富士夫君は、母校に勤務する傍ら、平成19年度から平成22年度までの4年間にわたって理事として、理事会の運営や学友会の発展に多大な貢献をしたことによる功績。



以上

* 通巻 208 号 2013 年 7 月 10 日発行(H25-No.2)より